

【集積化MEMS技術研究会主催】
第63回応用物理学会春季学術講演会
企画シンポジウム

「IoTアプリケーションと、 それを支えるキーテクノロジー」

平成28年3月19日(土)13:30-17:45
@東工大 大岡山キャンパス

満員御礼

第63回応用物理学会春季学術講演会
13.半導体 分科企画シンポジウム

IoTアプリケーションと、 それを支えるキーテクノロジー

IoT Application and Key Technologies

日時 2016年3月19日(土) 13:30~17:45
会場 東京工業大学 大岡山キャンパス W631

第4次産業革命ともされるIoT(Internet of Things)の応用分野は、産業分野だけに留まらず、家電、住宅、医療、農業など多様な分野で広がりを見せています。本シンポジウムでは、急激な変革の時期を迎えたIoTのアプリケーションと、それを支えるキーテクノロジーの最新技術動向や今後の課題を議論します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

招待講演 (敬称略)

川原 圭博 (東京大学)

「IoTを支えるデジタルものづくりのエコシステム」

森村 浩季 (NTT)

「IoT時代のLSI回路技術の役割と期待」

年吉 洋 (東京大学)

「IoT応用を目指したMEMS振動発電素子」

山口 泰男 (ルネサス)

「IoTにおける低電力LSIデバイス (SOTB) の最新技術」

森川 博之 (東京大学)

「IoTとデジタルトランスフォーメーション」

松本 佳宣 (慶応義塾大学)

「センサがもたらすIoT化と環境計測」

山田 亮太 (オムロン)

「センサネットワークに適した無線通信規格Wi-SUNについて」

山道 新太郎 (日本IBM)

「Cognitive Computingに向けたNeuromorphic device」

【世話人】町田 克之(NTT-AT) 有本 和民(岡山県立大) 松浦 正純(ルネサス)
土屋 晋由(京大) 佐々木 実(豊田工大) 年吉 洋(東大) 森村 浩季(NTT)